

津波防災シンポジウムを開催しました

- 開催日 平成19年5月26日(土)
- 開催場所 気仙沼中央公民館
- 参加数 320名
- 実施内容
 - 基調講演(東北大学大学院附属災害制御研究センター 今村文彦教授)

今村先生は、三陸における過去の津波災害やインド洋大津波からの教訓をもとに今後想定される宮城県沖地震による津波への備えとして私たちが何をすべきかについて講演をいただきました。

津波による被害に遭わないためには、「知る」、「課題を見つける」、「行動する」ことが必要であり、そのためには防災教育が重要であることを報告されました。

シンポジウムには小中学生も参加していましたが津波の基礎知識や対策についてわかりやすく説明いただきました。



○事例発表(気仙沼市立階上中学校 熊谷先生と生徒さん)

平成17年度より総合的な防災教育に取り組んでいる同校から、これまでの主な取り組みの発表と生徒さんによる「陸猿部隊」の実演が行われました。同校における防災教育は、単に教えるだけではなく、生徒さんが自ら考え行動できるようメニューを構成しており、今後の防災教育を考えるうえで貴重なものとなりました。



○事例報告(気仙沼市立浦島小学校、面瀬中学校、中井小学校)

気仙沼市内の3校より学校における取り組みの事例報告をいただきました。

いずれの学校も生徒さんや親御さんを巻き込んだ取り組みであり、大変参考になりました。

